

□Koenig, R. (ed.): **The plant viruses** Vol. 3, Polyhedral virions with monopartite RNA genomes. 294pp. 1988. Plenum Press, New York. \$ 59.50. ウイルスに関する研究は現在では極めて多岐にわたっているが、本シリーズではタイトルが示すように host として植物細胞を選ぶ様々なウイルスについて取り扱ったもの。これまでに Vol. 1. Polyhedral virions with tripartite genomes (1985), Vol. 2. The rod-shaped plant viruses (1986) が出ている。各巻とも十数名の専門研究者がその分野に関する最近の研究を review したもので、植物ウイルスの分類、宿主植物との関連、分子生物学的な問題などについてまとめられている。植物病理学分野では重要な文献となるであろう。(井上 浩)

□Glime, J. M. (ed.): **Methods in bryology** 403 pp. 1988. 服部植物研究所. ¥4,680. 蘚苔類に関する研究は現在では様々な実験的分野にも拡大されているが、蘚苔類を材料とした場合にどんな方法でおこなえばよいか、どんな装置をつかうとより効果的にデータが得られるかなどについて、1987年に西ドイツのマインツでおこなわれた国際蘚苔類学会 (IAB) の研究集会のプロシーディングである。蘚苔類を材料として組織培養、各種の化学成分の検出、成長測定、遺伝、細胞学などに関するいろいろな “methods” を取り扱っている。これらの方法は高等植物を材料としておこなわれる実験的研究とは必ずしも同じものではなく、蘚苔類という材料の特殊性が生かされた方法や技術が多い。蘚苔類を材料として研究を進める上で重要な指針となるし、こうした methodology の集大成は、これからの蘚苔類学の発展に大いに役立つものと考えられる。(井上 浩)

□The Royal Geographical Society & the Mount Everest Foundation: **The mountains of Central Asia** 1987. Macmillan, London. £14.95. 3300万分の1地図と地名索引98頁より成る。地図の範囲は東経70~106度、北緯26~42度で、南はヒマラヤ、北は天山、西はカラコルム・ヒンズクシ、東は峨眉山・成都を含む。索引はB5版で約6400の地名とその位置を経緯度で示す。中国の地名は最近の綴りを取りいれているので、XやQがやたらと目につき、われわれにはひきにくい。最近の主要文献のリストがある。地図は索引のカバーに収納され、現地旅行の携帯に便利にできている。(金井弘夫)

□気象庁(編): **生物季節観測30年報** 233 pp. 1988. 気象庁技術報告第110号。非売品。ソメイヨシノの開花日などでおなじみの生物季節の観測は、明治初期の頃からおこなわれて来たが、観測方法を全国的に統一しておこなうようになったのは昭和28年以降のことである。本報告書は昭和31年~60年の間のデータを整理したもので、北海道稚内から南大東島までに及ぶ全国102か所のデータがまとめられている。植物ではソメイヨシノ、エゾヤマザクラ、エゾヤマツツジ、アジサイ等の身近な種類の開花日、落葉日、その他が記録されている。地味なデータの積み重ねであるが、生物季節から気象変化を読むという点で、生態、環境などの面に有用なデータとなる。(井上 浩)